

**第12回「国際ドローン展」に出展
遠隔型スプレー缶噴射装置の新製品「SABOT-3 Block2」や
クマ被害対策用の新オプション「鉞（マサカリ）」などを展示**

東洋製罐グループホールディングス株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：中村琢司）の連結子会社である東洋製罐株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：武部安光、以下「東洋製罐」）は、2026年7月15日（水）～7月17日（金）に東京ビッグサイトで開催される、「メンテナンス・レジリエンス TOKYO 2026」の「第12回国際ドローン展」（東3ホール 3-N10）に出展します。

本出展では、東洋製罐が開発した新製品である、ドローン用遠隔型スプレー缶噴射装置「SABOT-3 Block2」やクマよけスプレー缶搭載オプション「鉞（マサカリ）」を展示します。実機展示や噴射デモを通じて、インフラメンテナンスやクマ被害対策など、ドローンの新たな活用方法をご提案します。



SABOT-3 Block2

メンテナンス・レジリエンス TOKYO 2026

第12回 ドローン（無人航空機）の産業利用に焦点をあてた国内最大級の専門展示会
国際ドローン展

■ **展示の見どころ**

本展示ブースでは、開発元である東洋製罐の視点から、技術解説とともに、業務効率化やコスト削減に貢献するドローンの活用方法を、具体的な実例を交えてご紹介いたします。

・ **ドローンによる遠隔作業をさらに進化させる「SABOT-3 Block2」**

本製品をドローンに搭載することで、空中からスプレー缶の噴射が可能となります。用途に合わせてスプレー缶を交換するだけで、シリコン塗料を用いた屋根の雨漏り補修や、防錆剤やコンクリート表面含浸材による軽補修作業、忌避剤による鳥害対策など、幅広い作業を可能にします。ドローンからの直接作業により、足場の設置や高所作業が不要となり、安全性向上とコスト削減に貢献します。

「SABOT-3 Block2」は前モデルから大幅にソフトウェアを改良し、最新の産業用ドローン「DJI Matrice 400」のほか、従来機の「Matrice 300/350 RTK」でも利用できるマルチプラットフォームを実現しました。さらに、カメラ性能やユーザビリティを向上させ、これまで以上に利便性の高い製品として、2026年7月より新たに販売を開始しました。

・クマ被害対策の新たなソリューション「鉞（マサカリ）」（開発中）

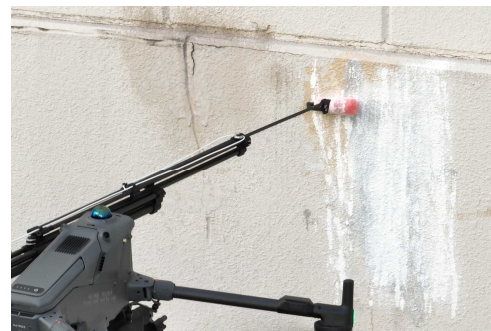
SABOT に接続可能な市販のクマよけスプレー缶搭載オプションです。SABOT の可動式ノズルや噴射精度、カメラで対象を確認しながら噴射できる機能を活用しながら、敷地内に侵入したクマの追い払いやカラーマーキングによる個体識別など、さまざまな使用方法を想定しています。今年度はクマの頻出する地域をはじめとした自治体関係者や企業と実証実験を実施し、運用方法の最適化を推進。早期の社会実装を目指します。



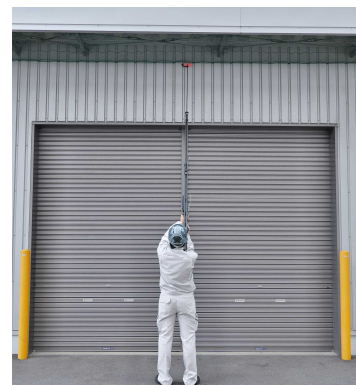
クマよけスプレー缶搭載オプション「鉞（マサカリ）」（開発中）

・多目的伸縮装置も展示（開発中）

ドローン用の多目的伸縮装置「NYOI（にょい）」や手持ちでの操作を可能にした多目的伸縮装置「tNYOI（てにょい）」を展示します。「NYOI」は多様なニーズに応えるべく、SABOT 単体では難しかった近接噴射や刷毛・ローラーによる直接塗装を可能とするアタッチメントとして開発中。「tNYOI」は軽量性と電動伸縮による利便性を人的作業にも応用する製品として開発しています。



多目的伸縮装置「NYOI」（開発中）



手持ち式多目的伸縮装置「tNYOI」（開発中）

■「第 12 回 国際ドローン展」概要

会期	2026 年 7 月 15 日（水）～7 月 17 日（金）
時間	10：00～17：00
会場	東京ビッグサイト 東展示棟 1～3 ホール
入場料	無料 ※完全事前登録制、招待券があっても事前登録が必須です。
ウェブサイト	https://mente.jma.or.jp/structure/drone.html
出展ブース番号	東 3 ホール 3-N10
東洋製罐 展示内容	・新製品のドローン用遠隔型スプレー缶噴射装置「SABOT-3 Block2」 ・クマよけスプレー缶搭載オプション「鉞（マサカリ）」 ・水を用いた SABOT の噴射体験デモ ・現物を用いたシリコンやタッチアップ塗料、防錆剤などのサンプル ・開発中の多目的伸縮装置「NYOI（にょい）」および手持ち式多目的伸縮装置「tNYOI（てにょい）」

■「SABOT-3」に関する参考情報

- ・製品ホームページ：<https://www.flying-aerosol.com>
- ・プロダクトムービー：<https://youtu.be/Tu4Kkoabrb8>
- ・実証実験動画：https://youtu.be/oST_zipRuD0

東洋製罐について

東洋製罐株式会社は、創業以来 “包む”ことの大切さを基本に包装容器づくりに専念し、皆さまの価値観やニーズに応えた包装容器を世の中に供給し続けてきたリーディングカンパニーです。

当社は、日常生活を支える社会的インフラである包装容器を通じて「人類の幸福繁栄に貢献する」ことを使命としています。

お客様に満足いただける、「東洋製罐ならではの」高付加価値な製品やサービスの開発・提供により、社会の発展に寄与すべく、次なる飛躍の実現に向けて邁進してまいります。

<https://www.toyo-seikan.co.jp/>

東洋製罐グループについて

東洋製罐グループは、金属・プラスチック・紙・ガラス等、それぞれの素材が持つ特性を活かしたさまざまな容器をグローバルに提供する総合包装容器メーカーです。包装容器事業のほか、エンジニアリング・充填・物流事業、鋼板関連事業、機能材料関連事業、不動産関連事業の 5 つの事業を有しています。

当社グループは、社会や地球環境について長期的な視点で考え、すべてのステークホルダーの皆さまに提供する価値が最大化するよう、2050 年を見据えた「長期経営ビジョン 2050『未来をつつむ』」を 2021 年 5 月に策定しました。当社グループの目指す姿・ありたい姿を「世界中のあらゆる人びとを安心・安全・豊かさでつつむ『くらしのプラットフォーム』」と位置づけ、「多様性が受け入れられ、一人ひとりがより自分らしく生活できる社会の実現」「地球環境に負荷を与えずに、人々の幸せなくらしがずっと未来へ受け継がれる社会の実現」を目指し、事業活動を推進していきます。

1917 年に創立し、国内 44 社（東洋製罐グループホールディングス含む）、海外 49 社のグループ会社を擁し、約 19,000 人の従業員が働いています。2026 年 3 月期の連結売上高は 9,632 億円です。

<https://www.tskg-hd.com/>

■お問い合わせ先

・本展示に関して

東洋製罐株式会社

テクニカルセンター 技術開発統括室 新製品創出チーム 荒木

Mail : FaST@tskg-hd.com

・本プレスリリースに関して

東洋製罐グループホールディングス株式会社

サステナビリティ推進部 コーポレートコミュニケーショングループ 柿本・市橋・高田・神子

TEL : 03-4514-2026 Mail : tskg_contact@tskg-hd.com

以 上